

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体				
		Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境			0.40		-					3.3
1 音環境		4.2	0.15	3.6	1.00					4.0
1.1 室内騒音レベル	共:45dB、宿:40dB	4.0	0.40	4.0	0.40					
1.2 遮音		5.0	0.40	3.6	0.40					
1 開口部遮音性能	共、宿:T-2以上	5.0	1.00	5.0	0.30					
2 界壁遮音性能	-	-	-	3.0	0.30					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	3.0	0.20					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	3.0	0.20					
1.3 吸音	-	3.0	0.20	3.0	0.20					
2 温熱環境		2.5	0.35	2.6	1.00					2.6
2.1 室温制御		3.3	0.50	3.5	0.50					
1 室温	夏期22°C、冬期22°C	4.0	0.38	4.0	0.57					
2 外皮性能	-	3.0	0.25	3.0	0.43					
3 ゾーン別制御性	-	3.0	0.38	-	-					
2.2 湿度制御	-	3.0	0.20	3.0	0.20					
2.3 空調方式	-	1.0	0.30	1.0	0.30					
3 光・視環境		3.8	0.25	3.8	1.00					3.8
3.1 昼光利用		4.2	0.30	3.0	0.30					
1 昼光率	共:2.5%≦昼光率	5.0	0.60	3.0	0.60					
2 方位別開口	-	-	-	-	-					
3 昼光利用設備	-	3.0	0.40	3.0	0.40					
3.2 グレア対策		4.0	0.30	5.0	0.30					
1 昼光制御	共、宿:ブラインドおよび庇でグレアを抑制	4.0	1.00	5.0	1.00					
3.3 照度	-	1.0	0.15	1.0	0.15					
3.4 照明制御	共:自動制御、宿泊:リモコン等で細かい制御が可能	5.0	0.25	5.0	0.25					
4 空気環境		3.5	0.25	3.6	1.00					3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63					
1 化学汚染物質	全面的にF☆☆☆☆を使用している	4.0	1.00	4.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38					
1 換気量	-	3.0	0.50	3.0	0.33					
2 自然換気性能	-	-	-	3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.50	3.0	0.33					
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-					
1 CO ₂ の監視	-	-	-	-	-					
2 喫煙の制御	-	3.0	1.00	-	-					
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-					3.4
1 機能性		3.6	0.40	4.6	1.00					3.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60					
1 広さ・収納性	シングル30㎡以上、かつツイン40㎡以上	-	-	5.0	0.50					
2 高度情報通信設備対応	各客室でGbitクラスのブロードバンドが利用可能	-	-	5.0	0.50					
3 バリアフリー計画	-	3.0	1.00	-	-					
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.0	0.40					
1 広さ感・景観	-	-	-	3.0	0.50					
2 リフレッシュスペース	-	-	-	-	-					
3 内装計画	共、宿:コンセプトに基づいた内装計画	5.0	1.00	5.0	0.50					
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-					
1 維持管理に配慮した設計	-	3.0	0.50	-	-					
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50	-	-					
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	-					3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-					
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-					
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30	-	-					
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20	-	-					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	耐用年数の長い外装材を使用	5.0	0.20	-	-					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	耐用年数の長い内装材を使用	5.0	0.10	-	-					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	SUSやガルバリウムダクトを用い長寿命化を図っている	4.0	0.10	-	-					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-					
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-					
2.4 信頼性		3.4	0.20	-	-					
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-					
2 給排水・衛生設備	-	2.0	0.20	-	-					
3 電気設備	非常用発電機、無停電電源設備の採用等	5.0	0.20	-	-					
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-					
5 通信・情報設備	通信手段の多様化等	4.0	0.20	-	-					

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.0	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり				-	3.0	0.50	
1 階高のゆとり	-			-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	-			-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	1.00		-	
1 空調配管の更新性	-		3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性	-		3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性	-		3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕ができる		5.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性	-		3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保	-		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.0
1 生物環境の保全と創出	生物環境の保全と創出に配慮した計画		5.0	0.30	-	-	5.0
2 まちなみ・景観への配慮	まちなみや景観に配慮した計画		4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	-		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制	高い外皮性能を確保		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	-		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	効率の良い設備機器の導入		3.3	0.50	-	-	3.3
集合住宅以外の評価			3.3	1.00	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	主要な用途別エネルギーを把握し妥当性が確認できる		4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	-		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1 モニタリング	-			-	-	-	
4.2 運用管理体制	-			-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水	-		1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	-		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無	-		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減	-		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	リサイクル材3品目以上採用		5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	-		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能等		5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用	PRTR法対象外の建材1種の採用		4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.6	0.70	-	-	
1 消火剤	不活性ガス消火設備を採用している。		4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWP=10以下		4.0	0.33	-	-	
3 冷媒	-		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出量に配慮している		4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止	-		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	-		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	-		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制	-		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	適切な駐車スペースの確保等		4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	-		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音	-		3.0	1.00	-	-	
2 振動	-		-	-	-	-	
3 悪臭	-		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制	-		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制	-			-	-	-	
3 日照阻害の抑制	-		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮している		5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-		3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	4.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	○	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		○	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0		-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	5.0	4.0	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	3.0		○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	13.0		2.0	2.0	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	4.0		2.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	10.0		-	2.0	3.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	11.0		1.0	-	1.0	3.0	3.0	2.0	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -U値(W/m²K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η_{AC} - η_{AH} -

昼光率 共:3.73

自然換気有効開口面積率 -

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース - /人 病床 - /床 シングル 52.0m² ツイン 52.0m²

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 - VA/m²

1.2.1 広さ感・景観

天井高 - m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース - レストスペース -

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 - 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 30年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 20年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 - 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 - m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 -

3.2 荷重のゆとり

床荷重 - N/m²

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 97% 建物緑化指数 10%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 - 水平投影面積率 - 地表面対策面積率 - 舗装面積率 -

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m 0.77 断熱等性能等級 対象外 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 - MJ/年m² 採光を満たす教室数 - 採光を満たす住戸数 -

通風を満たす教室数 - 通風を満たす住戸数 -

太陽光 - 太陽熱等 - 蓄電池 -

3 設備システムの効率化

非住宅部分

BEI/BEI_m 再エネ有 0.63 無 0.63 オフサイト再エネ有 - -

集合住宅の評価

一次エネルギー削減率 再エネ有 無 - -

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 -

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 磁器質タイル、断熱エコマーク商品 ビニル床 自治体指定の特定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 -

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 3

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 - 隣棟間隔指標R_w -

地表面対策面積率 - 屋根面対策面積率 - 外壁面対策面積率 -

見付面積S_b - 卓越風向と直交する最大敷地幅W_s - m 基準高さH_b - m緑地 m² 水面 m² 保水性対策面 m² 高反射対策面 m² 再帰性反射対策面 m²